

第2章

戦略別 計画項目

区政経営戦略プランの体系図

I 協働戦略 ～区民等による協働のまちづくり～		
区民、事業者、地域団体等と区が適切な役割分担の下、区民が主役の協働のまちづくりを進めます。		
(1) 区民参画の拡大		
①区民参画の場と機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ①(仮称)自治基本条例の制定 ②区政改革懇談会の開催 ③地球を守る区民会議の開催 ④西日暮里三丁目まちづくり協議会の開催 ⑤防災まちづくり協議会の開催 	11 ページ
②区民意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> ①パブリックコメント制度の推進 ②あらかわEモニター制度の推進 ③子育て支援モニター制度の推進 	11 ページ
(2) 協働型事業の構築		
①協働の担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ①(仮称)あらかわ地域大学の開校 ②団塊世代の活動支援 ③地域デビュー講座の開催 ④各種サポーターの登録・育成 	12 ページ
②ボランティアやNPOの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ①地域活動サロン「ふらっとフラット」(社会福祉協議会)の運営支援 ②区民による各種ボランティア活動への支援 	12 ページ
③産学官の連携による地域活性化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①国立大学法人東京藝術大学との連携 ②国立大学法人山形大学(工学部)との連携 ③公立大学法人首都大学東京(健康福祉学部、産業技術高等専門学校)との連携 ④女子栄養大学との連携 	13 ページ
(3) 区政の透明性向上		
①区政情報の公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①行政評価結果(政策分析・施策分析・事務事業分析シート)の公表 ②財務書類4表及び年次財務報告書の公開 ③区ホームページの充実 ④区立施設見学会の実施 ⑤外国語版刊行物の発行 	14 ページ
②コンプライアンス(法令遵守)の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ①公務員倫理研修の実施 ②不正防止委員会の開催 ③公益通報制度の推進 	14 ページ
II 業務戦略 ～事務事業の再編・整理等の推進～		
最少の経費で最大の効果を生み出すよう、常に制度、仕組みや仕事の進め方を見直します。		
(1) より一層の業務改善の推進		
①行政評価による施策・事業の検証	<ul style="list-style-type: none"> ①行政評価の充実 ②外部評価の導入 	15 ページ
②施設の在り方・管理運営の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ①ふれあい館の整備 ②区民事務所の適正配置 ③保育園の施設の在り方・管理運営の見直し ④幼稚園教育の見直し ⑤図書館サービスの充実 	16 ページ
③事務事業や執行方法の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ①申請書自動作成サービスの見直し ②あらかわ遊園における電子マネーサービスの見直し ③新リサイクルセンター(資源の中間処理施設)の整備 ④廃棄物収集運搬・中継作業等の執行体制見直し 	17 ページ
④事務改善手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> ①業務マニュアルの整備 ②事務改善手法の検討 	17 ページ
⑤入札・契約制度改革	<ul style="list-style-type: none"> ①電子入札システムの導入 ②総合評価方式の導入 ③契約後の業績評価の強化 	18 ページ
(2) 執行体制の見直し		
①横断的組織の構築	<ul style="list-style-type: none"> ①ニュータウンに関する検討会 ②夢のある荒川づくり構想勉強会 	19 ページ
②エンパワーメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ①自治体シンクタンクの設置 ②組織の改編 	19 ページ
③外郭団体の在り方の検討	<ul style="list-style-type: none"> ①(財)荒川区地域振興公社 ②(財)荒川区勤労者福祉サービスセンター 	20 ページ

(3) 区民の利便性の向上		
①窓口サービスの充実	①窓口開庁時間の拡大 ②戸籍システムの運用	21 ページ
②申請手続の利便性向上	①電子申請サービスの拡大 ②電子納付サービス(ペイジーの利用)の実施	21 ページ
(4) 民間活力の積極的導入		
①官民の役割分担の検討	①新たな手法導入の可能性について検討	22 ページ
②区立施設における指定管理者制度の活用	①指定管理者制度の導入 ②指定管理期間終了に伴う選定手続 ③実績評価制度の整備	22 ページ
③アウトソーシング(外部委託)の推進	①学童クラブ事業業務の委託拡大 ②保育園給食調理業務の委託拡大 ③道路等維持管理業務の委託拡大 ④公園維持管理業務の委託拡大	23 ページ
④民間事業者の事業誘致	①法人立特別養護老人ホームの誘致 ②障がい者施設の誘致 ③コミュニティバスの運行拡大 ④セメントサイロ跡地の開発	23 ページ

III 財務戦略 ～財政基盤の強化～

中長期にわたり計画的な収支のバランスを図り、健全な財政の推進を図ります。

(1) 財政基盤の強化

①自主財源の確保	①自主財源検討委員会 ②広告料収入の確保	24 ページ
②負担の適正化	①家庭ごみの有料化 ②保育料の適正化 ③学校施設における受益者負担の適正化	24 ページ
③債権管理の適正化	①(仮称)債権管理条例の制定 ②債権管理委員会の設置 ③債権管理事務の電子化 ④債権管理事務マニュアルの作成 ⑤職員研修の実施	25 ページ
④収納率の向上	①(仮称)納付案内センターの設置 ②コンビニ納税の導入	25 ページ
⑤資産の有効活用	①旧西日暮里ひろば館の活用 ②旧道灌山中学校の活用 ③旧町屋三丁目ひろば館の建替 ④旧ハヶ岳キャンプ場の売却 ⑤旧真土小学校用地の活用	26 ページ

(2) 健全な財政の推進

①財政健全化に向けた総合的な取組	①財政健全化のための検討 ②財政中長期見通しの作成	27 ページ
②公会計制度の改革	①公会計制度改革の推進 ②公会計制度対応システムの導入	27 ページ

IV 人事戦略 ～創造的人事行政への転換～

高い職務意欲を持ち、知識や能力を兼ね備えた職員集団の形成を目指します。

(1) 目標を明確にし、行動する組織の形成	①人事考課制度の導入 ②新たな目標管理の導入 ③第三者評価検証制度の導入	28 ページ
(2) 高い職務意識の醸成と、意欲ある職員集団の育成	①新たな人材発掘プログラムの展開 ②新たな研修体系の確立 ③荒川区職員ビジネスカレッジ ④フレッシュャーサポート制度 ⑤柔軟な職員配置の実現 ⑥複線的な処遇制度の確立	29 ページ
(3) 地方自治体の役割や雇用動向等の変化に対応した多様な人材の活用	①非常勤職員制度の改革 ②常勤職員採用の多元化の実現 ③退職職員の新たな活用	30 ページ
(4) 区政課題への取組を担保する、適正な組織体制の確立	①職員定数の管理	30 ページ